

平成16年9月21日

## 報道資料

ディー・ブレイン証券株式会社  
代表取締役社長 出縄良人

### グリーンシート主幹事先経営者に研修を義務付け ～コンプライアンスと情報開示を徹底～

ディー・ブレイン証券株式会社

グリーンシート銘柄取扱最大手のディー・ブレイン証券（東京中央、出縄良人社長、03-5645-8808）は、10月以降に新規届出を行うグリーンシート銘柄の発行企業経営者及び財務責任者を対象として、コンプライアンス強化と情報開示の徹底等を目的として、研修を義務づける。10月以降に新規にグリーンシート主幹事契約を締結する会社から契約に盛り込む。

グリーンシート銘柄の主幹証券会社には、発行企業に対する情報開示指導責任が日本証券業協会の規則により課されている。ディー・ブレイン証券では120名を擁する公認会計士を中心とした専門家ネットワークを有する強みを生かして、専門家のディスクロージャーサポートを義務づけるなどにより、小規模企業が株式公開をするグリーンシートにおいて上場企業並みの情報開示体制を整備してきた。また、グリーンシート公開企業経営者を中心とする組織「若葉会」を発足、グリーンシート企業経営者は、グループのディー・ブレイン・コンサルティング（東京中央、小峰衛社長、03-5645-8841）が運営するD.BRAINビジネススクールの教育研修カリキュラムに無料で参加できることになっている。今回は、情報開示指導のさらなる強化を図るとともにコーポレートガバナンスの体制やコンプライアンス等、公開企業経営者にとって重要性の高い研修を別途、義務づけることとした。義務づける研修カリキュラムは次の通り。

グリーンシート制度の概要と特徴

グリーンシートにおけるディスクロージャー制度

インサイダー取引とタイムリーディスクロージャー

コーポレートガバナンスとコンプライアンス

エクイティファイナンスと証券取引法の規制

グリーンシート銘柄は9月21日現在で91銘柄。このうち上場準備企業向け銘柄区分「エマージング」の銘柄数は65銘柄。ディー・ブレイン証券は今のところエマージング区分65銘柄全ての主幹事を務めている。新規銘柄は月平均2銘柄のペースで増加が続いている。下期以降は新規銘柄が平均3銘柄に加速する見通しだ。

JASDAQが証券取引所の免許申請を行うことに伴い、グリーンシートには証券取引所を補完する新たな店頭市場としての役割が期待されている。「未公開株の市場から本格的な店頭公開市場へと発展するにあたり、発行会社には公開企業経営者として株主に対する責任への自覚と情報開示機能をさらに徹底する必要があるとの判断から、研修を義務化することにした」（出縄社長）ものだ。

#### 本件に関するお問い合わせ先

ディー・ブレイン証券株式会社

住所：東京都中央区日本橋茅場町1-9-2

電話：03-5645-8841 / FAX：03-5645-8811

担当：取締役企画総務部長 高沖文人